

大宮工業・浦和工業新校準備委員会（第1回）議事録

日 時 令和5年1月19日（木）15：00～16：45

会 場 県立大宮工業高等学校大会議室

出席委員 岡部委員長・清水副委員長・堀口副委員長・大砂委員・岩崎委員  
渡辺委員・鈴木委員・魚住委員・野澤委員・水島委員・金子委員  
佐藤委員

協 議 「大宮工業・浦和工業新校基本計画検討（案）」について

○ 主な意見・質問・回答

No.	主な意見・質問・回答
1	<p>「ロボット技術に関する学科」を設置するというのは、どういう意図があるのか。</p> <p>（回答） 今後の技術革新や産業、経済の在り方を踏まえると社会に求められる学科なのではないかと考えている。ロボットに関する学びを新しく進めていきたいという思いがある。</p>
2	<p>地域に根ざした人材を輩出することが工業高校の使命である。今まで両校が取り組んできた産業界とのつながりは継続しつつ、優秀な企業との連携をさらに強化していく必要がある。</p> <p>地域の企業の協力を得て、インターンシップのみならず、企業の実力、技術力を知り、探究学習も実践していけると良い。</p> <p>今の工業教育をより発展、深化させ、地域産業に役立つ知識とスキルを身に付けていってほしい。</p>
3	<p>目指す学校の論点にある「小中学生のものづくりへの興味関心を高める」という視点は非常に重要である。保護者からすると工業高校は何をやっているのかとわかりにくい。</p> <p>工業高校のことをもっと知ってもらうことが重要だと考える。工業高校のことを知らないために、選択肢に入らないという子供もいるのではないかと。</p>
4	<p>工業高校を多くの人に知ってもらい、イメージアップにつなげることで子供たちの学びの場や研究の関心につながっていくのではないかと考えている。</p> <p>地域の方々や商業施設に御協力いただきながら、様々な体験を通じて生徒が自信を持てるようになる。また、学んだことを生かし、自ら起業してみたい、スタートアップしてみたいという意欲につながる。論点にある両校共通の視点</p>

	は非常に素晴らしい。子供たちが胸を張って未来へ向かえる学校となっていけたら良い。
5	ものづくり全般に関する基礎をしっかりと学べるようなカリキュラムにしてほしい。「先端産業」「先端技術」の分野は、卒業後に進学・就職してから本格的に学ぶことになると思う。
6	世界で活躍する人材を育成するという観点も重要かと思う。どうやったら世界と対等にやっていけるのか。最低限の語学力や一般教養は必要である。
7	「地域のものづくりの拠点」という観点から、地域の最先端技術の分野で活躍している方と連携を図れると良い。地域に根ざした方からいろいろ学ぶということも大事である。
8	工業系の大学では「Society5.0」社会をどうしていくかということが話題になっている。高校生が卒業して社会で働くのは5.0の世界である。工業高校でこの点にどう触れていくか考えていかないといけない。データサイエンス等の視点も大事。きっちり工業の基本を学びつつ、これからの社会を見据え、新校の目玉を考えていけると良い。
9	社会に出ていった時に何が大事か考えると「自分の個性にあった得意分野を伸ばす」ことが一番だと思う。学びの選択の幅を増やしていくことも大事ではないか。社会に出た後の目標も定められ、生徒の自信につながると思う。
10	社会に出れば色々な方と関わることになる。挨拶をする、服装を整える、時間を守ることは社会人として必須条件。論点にある「5S」の観点は重要である。
11	教育相談の観点は重要である。相談する部署を明確にする、すべての教員がカウンセリングマインドを持って対応するなど、生徒に寄り添い、しっかりサポートする体制をつくっていく必要がある。
12	社会に出たときにどういう人材が求められるのかという観点で校則を定め、生徒が迷わないように校内で統一した指導をしていくことが大事である。「社会人としての基礎」も学校の中で学べるようにしていただきたい。
13	単に面接試験を突破することが進路指導の目的とならないよう、生徒に夢を持たせる、考えさせる進路指導ができると良い。
14	教科・科目の選択の幅を広げるなどキャリア教育を視野に入れたカリキュラムにすることで進路選択につながっていくのではないかな。
15	進路指導においは、地域とのつながりも大事。地元の企業等と連携し、高校生として一歩リードしたレベルの高い取組ができると良い。
16	新校が設置される大宮工業高校の広い敷地や施設を活用し、魅力ある高校になるよう検討していくと良い。